

平成20年7月25日

報道発表資料

南海電気鉄道株式会社  
社団法人大阪フィルハーモニー協会

子どもたちに本物の音楽を -

**文化振興事業「Harmonia - ハルモニア - 南海」**

**第1弾「南海コンサート少年少女鑑賞会」を実施します。**

「音楽と私」をテーマに作文を募集し、100組200名様を大フィルコンサートにご招待。

南海電鉄（社長：巨 信二）と大阪フィルハーモニー協会（理事長：小林 庄一郎）では、子どもたちが本物の音楽に親しめる機会を創出し、音楽分野で活躍する人材の育成および能力向上を支援する活動を、今年度から協働事業として開始しました。本活動は、南海電鉄の文化振興事業「Harmonia-ハルモニア-南海」の一環で、関西における音楽文化の向上を図るため、オーケストラコンサートの鑑賞支援や小学校への継続的な音楽指導支援を行います。

第1弾として、「南海コンサート少年少女鑑賞会」を実施。この鑑賞会は、子どもたちの音楽の夢についての作文を募集し、応募者とその保護者をペアで「南海コンサート」（出演：大阪フィルハーモニー交響楽団）に招待するものです。

詳細は別紙のとおりです。



南海コンサート（イメージ） © 飯島 隆



小学生指導の様子（イメージ）

< 別 紙 >

1. 「Harmonia-ハルモニア-南海」事業について

(1) 事業名

「Harmonia-ハルモニア-南海」

(2) 事業目的および内容

今年度を初年度とする南海電鉄の新3か年経営計画「堅進126計画」の基本方針の一つである「沿線活性化の推進」に基づき、大阪フィルハーモニー交響楽団との協働により実施する文化振興事業です。音楽分野で活躍する人材の育成および能力向上を目的とし、子どもたちが本物の音楽に親しめる機会の創出を目指します。

ハルモニアとは「ハーモニー」の語源となったラテン語で、調和、和音を意味します。関西における音楽の振興をはじめ、地域やステークホルダーとの調和を目指し、ともに響きあい、共鳴するコミュニティづくりを推進していきます。

(3) 平成20年度に実施予定の企画

- ・第1弾「南海コンサート少年少女鑑賞会」
- ・第2弾「大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる小学校訪問」

2. 第1弾「南海コンサート少年少女鑑賞会」について

(1) 企画名

「知っていますか？本物の音楽を“南海コンサート少年少女鑑賞会”」

(2) 目的

子どもたちに本物の音楽に触れる機会を提供し、南海沿線の音楽文化力を高めます。

(3) 内容

「音楽と私 将来の夢」をテーマに子どもたちから作文を募集し、応募者とその保護者をペアで今年度開催する南海コンサート（第52回、第53回）に招待します。募集人数は各回50組100名です（応募者多数の場合は抽選）。

< 作文募集概要 >

対 象：音楽に興味のある少年・少女（小学生以上18歳以下）

テ ー マ：「音楽と私 将来の夢」

原 稿：400字～1200字まで（400字詰め原稿用紙1枚以上3枚以下）

応募先：氏名、性別、年齢、住所、電話番号を記入のうえご応募ください。

〒542-8503 大阪府中央区難波五丁目1番60号

南海電鉄 経営企画部「音楽と私」係

締 切：平成20年9月19日（金）必着

（上記は第52回コンサートの締切です。第53回コンサートは

平成21年1月15日（木）必着となります。）

問合せ：南海テレホンセンター 06-6643-1005

備 考：応募書類は返却しません。優秀作品はコンサート当日、会場に展示します。

< 第5 2回南海コンサート「オーケストラの大冒険」概要 >

実施日：平成20年10月11日（土）（開演 14:30 / 開場 14:00）

会 場：SAYAKA ホール（大阪狭山市文化会館）

指 揮：吉田行地

管弦楽：大阪フィルハーモニー交響楽団

演 目：「パイレーツオブカリビアンより」「ジュラシックパークより」ほか

備 考：第5 3回南海コンサートは平成21年2月8日（日）に「サラダホール」  
（阪南市立文化センター）で開催します。

第5 3回分の作文募集や詳細な案内は別途改めて行います。

南海コンサートは、大阪フィルハーモニー交響楽団の演奏によるもので、沿線の音楽文化振興のため、南海電鉄が協賛・実施しています。

3．第2弾「大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる小学校訪問」について

（1）企画名

「小学校 de カンタービレ！ “ 楽童倶楽部 ” 」

（2）内容

大阪フィルハーモニー交響楽団が楽団員を小学校に派遣し、音楽の楽しさを伝えるとともに小学生への音楽指導を行います（南海電鉄協賛）。なお、カンタービレとはイタリア語で「歌うように演奏される曲」を意味します。

詳細については後日別途報道発表いたします。

4．今後の展開について

大阪フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる沿線の学校への継続的な演奏指導や「南海コンサート」における共演など、地域密着型の事業を推進する予定です。

以 上